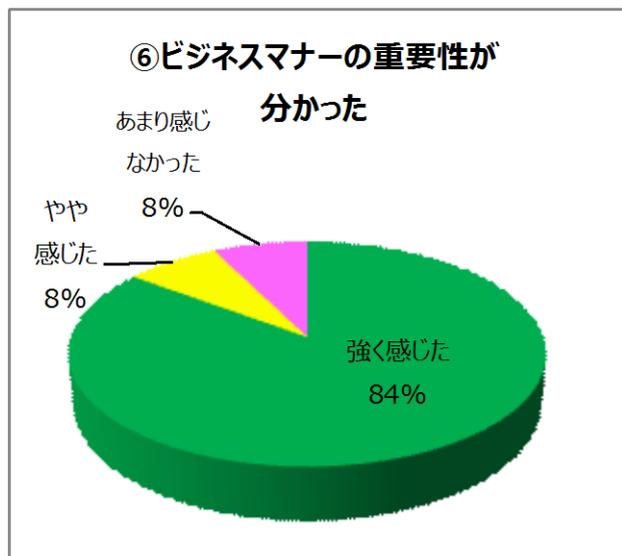
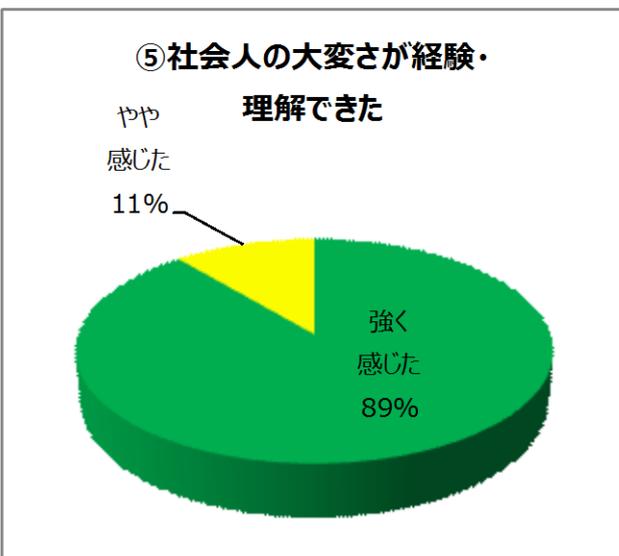
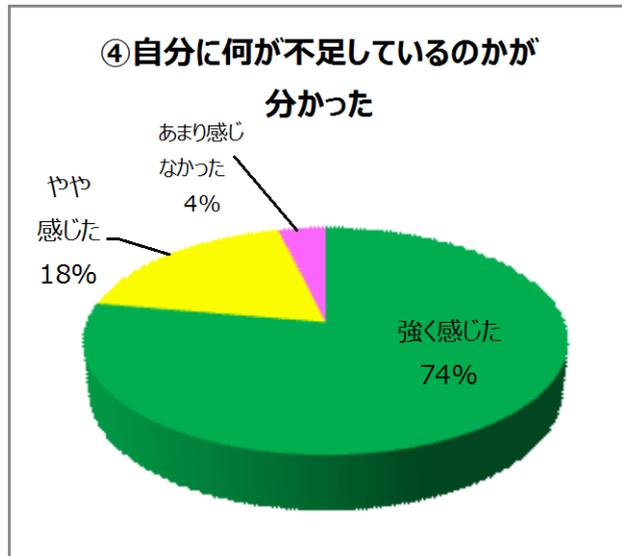
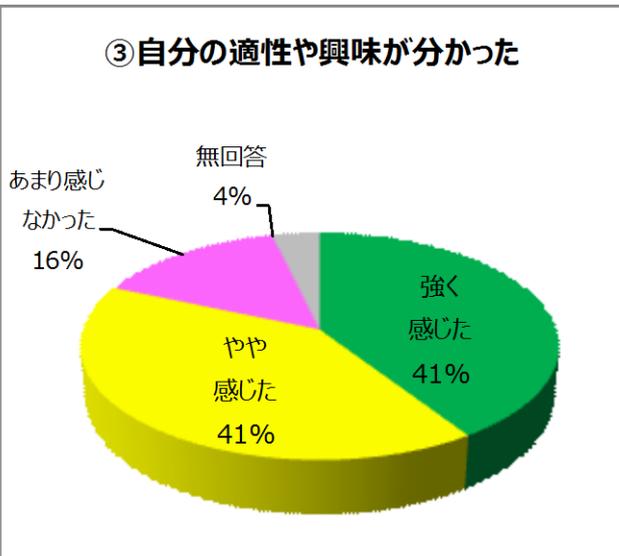
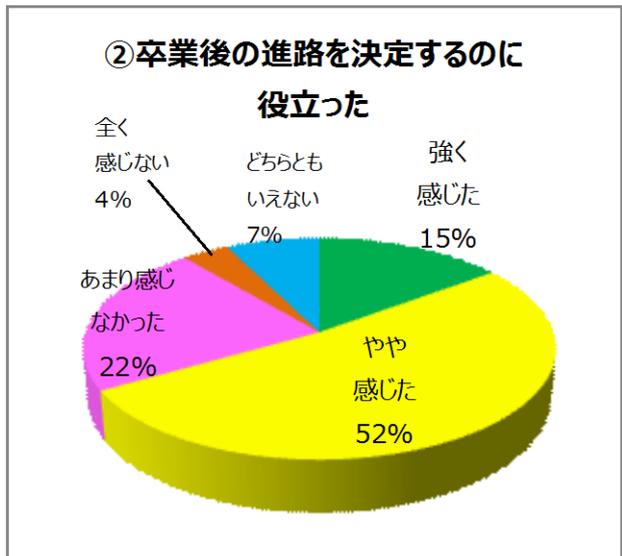
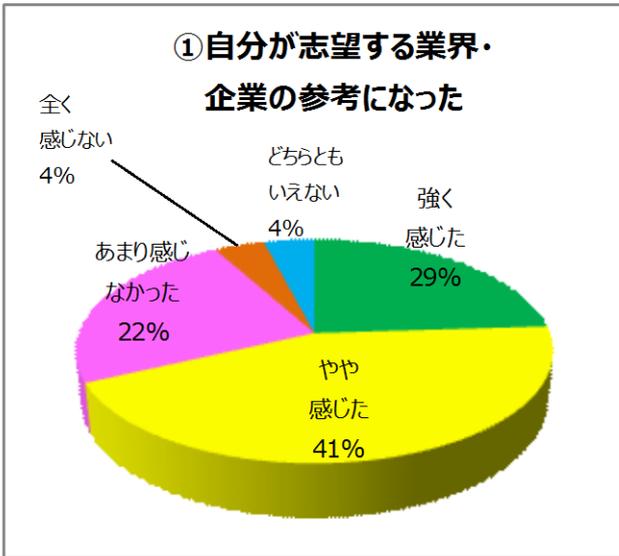
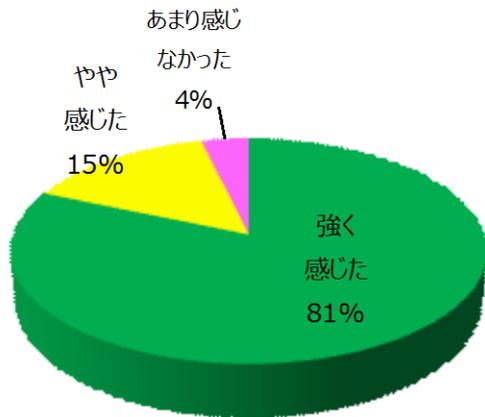


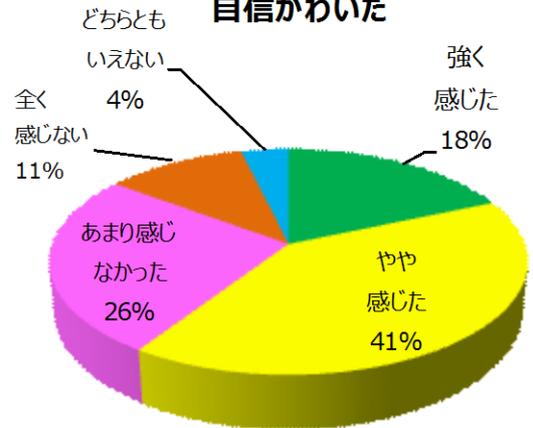
資料① Q3.インターンシップに参加した結果、どのように感じていますか。【グラフ】



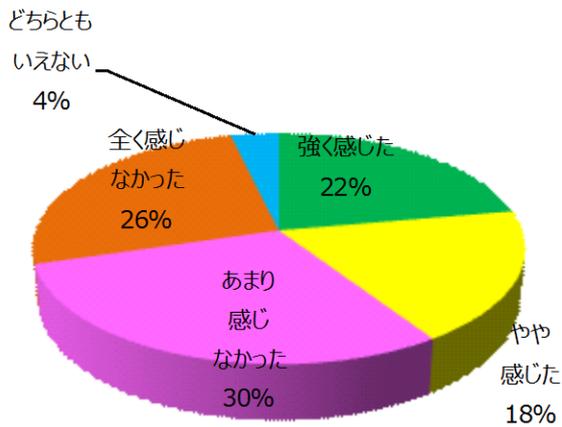
### ⑦時間の大切さが分かった



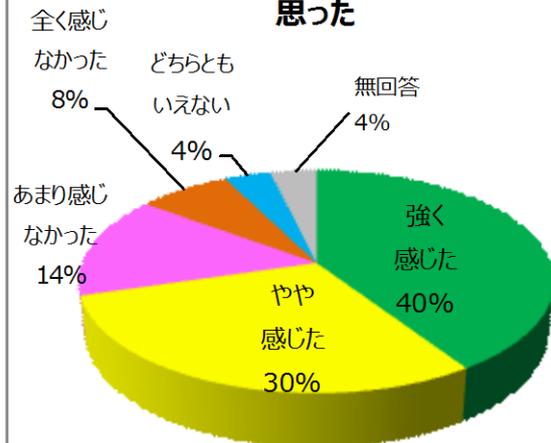
### ⑧コミュニケーション能力に自信がわいた



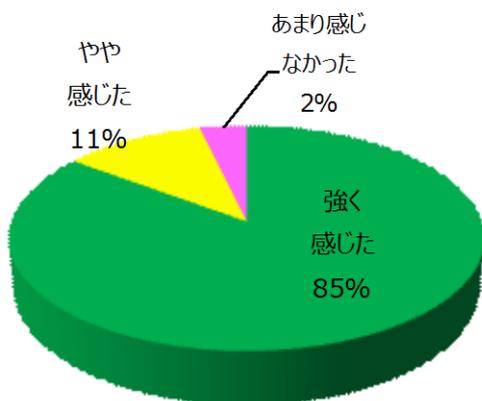
### ⑨新聞を読む大切さが分かった



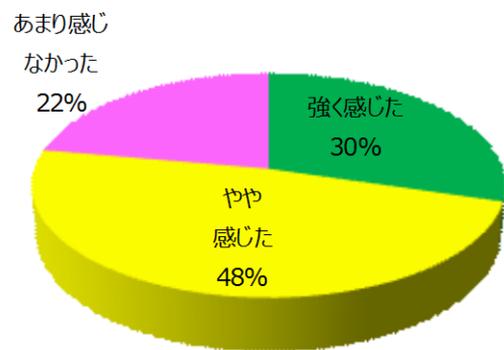
### ⑩学生時代にもっと勉強すべきだと思った



### ⑪仕事における責任感を感じた



### ⑫実習を通して自分に自信がついた



### ＝法学部＝

- 自分に向いているかどうか分かったから。
- インターンシップでしか体験できないことを体験でき、貴重な就活の際の材料となった。また、行ってみないと分からない、その時でしか味わえない雰囲気も刺激となった。
- 仕事に対する見方が変わったからです。
- 社会に出て働くことの大変さや、社会人になるために必要なスキルを知ることが出来たから。
- インターンシップを経験することで、自分の興味のある職を発見することが出来たから。
- 実際に行かないと気付かなかった自分の課題を発見することが出来たから。
- 普段のアルバイトと違って、社内の雰囲気や敬語、マナーなども学ぶことが出来ました。また、今の自分に足りない部分分かり、改善すべきところを認識できました。

### ＝経済学部＝

- 業界を知ることが出来たこと、働くことを具体的に意識するようになったから。
- 商工会議所を通じていろいろな職業の方々と接点ができ、様々な企業を知ることが出来た。
- 自分を変えるきっかけ作りが出来た。
- 私が育てたいと思っていた積極性を純分に育てられたと思います。
- 自分の知らないこと、分からないことをたくさん見つけることが出来、自分磨きが出来たので参加して良かったです。
- 自分にとって何が向いているかが参加しないと分からないことが多くあったからです。また、自分の自信に繋がりました。
- ホテル業に興味があったため、どんな仕事なのかを体験することが出来たため。
- 保育関係ではあまりアルバイトなどで体験できないが、今回それが体験出来たから。

### ＝国際関係学部＝

- 実習先はとても雰囲気も良く、社員の方々も信頼だったので、楽しく実習に取り組むことが出来ました。
- インターンシップに行くまでの自己分析をすることで、自分が何を得意とし、どんな特性があるのかを知ることが出来ました。慣れないスーツを着て社会人の方々と共に行動することで、社会人の良さや大変さを体験でき、将来自分の働く姿を想像することが出来ました。
- アルバイトでは体験できないような貴重な体験をすることが出来たから。
- 今回が初めての实習で不安もありましたが、社会とはどのようなところか、実習先の企業はどんな仕事をしているかなどを学ぶことが出来たからです。
- 会社の雰囲気や職場の人間関係を直接見ることが出来たから。

### ＝現代ビジネス学部＝

- 自分が知らない業界に対しての理解と自分が持っている目標の難しさを改めて知ることが出来ました。
- 自身が社会でどう活躍できるのかを考えるきっかけとなり、大変良い機会だったと感じているから。
- 1年生での実習だったため、大変自信が付いた。

### 資料③ Q7.今回のインターンシップを、後輩学生に勧めたいと思いますか。【理由記述編】

#### ＝法学部＝

- 自分自身、もっと早めに参加すれば良かったと後悔したので、後輩には後悔して欲しくない。
- 就職を意識するきっかけになるから。
- 自分を変えたい、成長したいと思う学生に勧めたいです。企業の方だけでなく、他大学の学生と交流する機会があって、価値観の違いや考え方に触れることが出来ました。
- インターンシップは企業研究も出来て、かつ社会を経験出来るから。
- インターンシップを経験することで、自分の興味のある職を発見することが出来たから。
- 何事も経験が必要だから。大変な部分が多いが行く価値があると思うから。
- これからの就職活動で必要になる自己分析やマナーなどを学ぶことが出来ます。また、その業界で気になることも聞けるので、その業界を目指している人には、ぜひ参加して欲しいです。

#### ＝経済学部＝

- 行ってみないと分からない事もあるから。
- 参加することで新しい発見が多くあったから。
- 就職活動の前に自分がどのような人間なのかを知ることができ、就職活動の際の業界選びに役立つから。
- 社会経験を積めるという点では非常に良い経験になるので、今後の職を決めるという点でもお勧めできると思います。
- インターンシップに参加すると、自分に何が必要で、将来どんな仕事に就きたいのかを知ることができるからです。
- 自分の強み、弱み、何をしたいのかが分からない人は、少し明確になるからです。自分にとって得しかないからです。
- 将来の方向性が少し見えているのなら、その職業を一度体験してから就職活動を始めた方が良いと思うから。

#### ＝国際関係学部＝

- 就職活動に備えて、インターンシップに行くことを勧めたいです。事前研修では、自己分析もできるので、自分を見ることが出来ます。
- 実際にインターンシップに行くことで、自分だけが感じ得られるものがあるはずです。
- 新しい経験ができるため行った方が良いと思うが、意志が強くないと途中で止めてしまいそう。
- 私も先輩から「2年生のうちにインターンシップに参加しておく方が良い」と勧められたのが、参加した理由の一つです。参加したことが無い人には尚更勧めたいです。

#### ＝現代ビジネス学部＝

- 今回のインターンシップを通して、社会や将来に対して広い視野を持ち、明確にすることが出来ました。ただ、長期的な内容になるので、大学生活との両立を考えると後輩に強くは勧められません。
- 自分の適性、短所の発見等に活用して欲しいを感じたから。
- 行った後は良かったと思えるが、とても大変・・・

## 資料④ Q8.今回のインターンシップ実習期間は長かったですか？【理由記述編】

### <「ちょうど良い」>

- 6日間の実習期間であったが、最後まで集中力が切れることなく終了したから。
- 夏休みだったので長いとは思わなかった。【25日間】
- 5日未満だと目標を達成できないし、それ以上に長い場合も気持ちが緩む可能性があるから。【10日間】
- 各部署で丸一日業務を教えていただけだったので良かった。【5日間】
- 5日間と言う時間で集中してたくさんのことを吸収出来たから。長すぎると集中できなかったと思うので。
- 形態が全く違う仕事を短期間でたくさん経験出来たから。【10日間】
- 2週間あったので最初は長いなと思っていたのですが、3日間程度では何も得られないことに気付いたため、2週間で良かったと思いました。
- 実習先ではほとんど見学だったので、どういう仕事内容なのかを知りたかった自分にとってはちょうど良かったです。【5日間】
- なれるまでに週間くらいかかると、自主的に動くには2週間くらいがちょうど良いと思ったからです。【12日間】
- 最初は5日は短いと感じていましたが、実際にインターンシップに行ってみて、スケジュールも充実していてちょうど良いと感じました。
- 1日や3日だと、何かを学んだり得たりするには短いと思いました。1週間あれば十分に学ぶことが出来るし、無理なく実習に参加できると思います。
- 様々な部署・店舗を回る際の1~2日毎とという日数と、新しい人との出会いがちょうど良いバランスであったため。【8日間】

### <長い>

- 仕事の内容が簡単なものだったので、3日でも良いような気がする。【3日間】

### <「やや長い」>

- 10日間あると、企業も何をしようかと考えているところがありました。自分自身も途中で緊張感が薄れていってしまったのが反省点。【10日間】
- 3日くらいで良かったと感じたから。【5日間】
- 最初は10日間と聞いて長いと思いましたが、学生同士や企業に対する思い入れが芽生えたと、残りの期間の経過はとても速かったです。
- 実習を終えるとちょうど良かったと思うが、期間中辛いと思う日があったから、少し短くても良いと思った。【10日間】
- 毎日動きっぱなしで、足と腰を痛めてしまったため。【10日間】
- 交通費が出ずに、かなりお金がかかったから。【10日間】

### <「やや短い」>

- 課題解決型では報告会があったため、報告会準備のためにはもっと日数が多い方が良かった。【8日間】

### ※その他意見

- ・通年科目なので一年を通してあるものだと分かっていたが、実習生報告会は12月ではなく、もっと早い時期に実施しても良いのではないかと思った。
- ・実習が終わってから報告までの時間が空いたので、やり辛い部分はありました。